



【 作品 No.01 】

腕時計みかん

A Wristwatch Orange

難易度 ★★☆☆

簡単で楽しい、本書イチ押しのみかんのむき方です。「今何時?」「オレン時!」などとやりとりして楽しんだ後は、そのままパクッと食べましょう。リアルに見えるかどうかより、楽しくみかんをむいて食べようというのが、この本のコンセプトです。



1

ヘタを中心に、縦1列がベルト状に残るように皮をむきます。



2

まずは右面部分をむきます。



3

同じように、左面部分の皮もむきます。

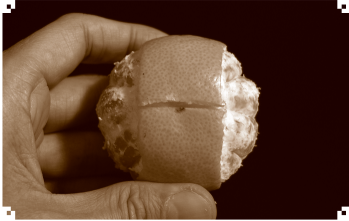


4

きれいにむくと、こうなります。



ここからはみ出しコーナーでは、知っているとちょっとだけうれしい、みかんにまつわる雑学・豆知識をご紹介します。



5

ヘタと正反対になる部分に、横に切れ目を入れます。



6

残った皮がバンドになります。実からいていねにむいていきます。



7

1列になるように広げましょう。



8

きれいに整えます。



9

腕の上に置き、皮の部分を巻きつければ完成です。



10

バンドのつなぎ目をテープや爪楊枝などでとめれば、より完成度がアップします。



できあがり

◎ ワンポイントアドバイス ◎

大人の方は、皮のバンド部分が短くて、腕に巻けないことがあります。そんな時は、テープでとめて固定してみてください。皮の白い面はくっつきにくいですが、オレンジ色の面を使うとくっつきやすいです。



日本で一般的にみかんと呼ばれるものは、「温州(うんしゅう)みかん」という品種を指します。これは400年ほど前に、鹿児島県の長島で生まれた日本原産のみかんです。当

初は中国の温州市が原産と思われていましたが、この種はなかったため、日本で突然変異により生まれた独自の品種であることがわかりました。